



第119号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp

地震と地域福祉

NPO法人あおぞら・旭中央病院 大屋滋

平成23年3月11日、大震災が起こった。旭市も地震と津波で大きな被害を被った。

ある病院では、一瞬にして野戦病院のような様相になった。人工呼吸器や酸素など生命維持に必要な装置を維持しなくてはならない。医師も看護師も病棟に集まった。非番の看護師が次々と駆けつけた。一段落した後も、余震の度に職員が病棟を駆け回った。夜は4名の夜勤者が50名近い入院患者の安全を守るというプレッシャーを負った。東北出身の看護師の中には、家族が被災して安否も分からない状況の中で働き続けた人もいる。

ある福祉作業所では、被災した職員が避難所から職場に出勤してきた。職員たちは、通常通りの営業をするつもりで、そのことに何の疑問も持っていなかった。水がなくても、電気がなくても、ガソリンがなくても、できる範囲で利用者のためになるように努力する。利用者にとって辛い状況だからこ

そ、少しでも支援を行おうという意欲が満ちていた。

何とかサービスを提供しようとしたのは医療や福祉に限らない。あるホームセンターでは天井の一部が落ちそうになった店舗で危険エリアを立ち入り禁止にして、地震関連用品を販売していた。店にとって多少のリスクを背負っても、その方が市民に役に立つと判断して店を開けたのだろう。他の店では震災グッズを通常よりも安く売っていた。

飯岡地区は大きな津波被害を受けたが、そのど真ん中のコンビニやガソリンスタンドは泥の中で早期に営業再開していた。多くのボランティアが集まったことも素晴らしいが、この時ばかりと働き続けた市役所の職員は公務員の意味を再認識させてくれた。

福島でも、三陸の被災地でも、多くの人たちが必至で働いている。想像を絶する過酷な環境の中で、自分の仕事を当たり前のよう

なしている人がいる。

社会の中である役割を持っている職業人として、いざというときこそ自分の仕事をちゃんとやる。

福祉事業でも利用者にも長期安定してサービス提供を継続するためには、いろいろな基準、規定、会議等は必要不可欠である。しかし平常時はいつの間にか決めごとや効率、過度な安全性にとらわれてしまいがちになる。どんな状況でも自分の仕事をするのが当たり前だという意識が自然に湧いてくるためには、仕事にやりがいがあり、楽しみがあり、利用者のためになっているという気持ち、そして少しの覚悟が必要だと思う。

ささやかであっても、不完全であっても、どれだけ地域の人に、そして社会にプラスになることができるのか。困っている人も困っていない人もお互いで助け合う。一人一人ができることをやり、それを積み重ねる。福祉事業に携わる人に限らず、すべての市民がお互いに支え合う、地域社会自体が地域福祉なんだと言うことを、地震が気付かせてくれた。

先人の足跡⑤

経済人の支援

理事長 細瀨宗重

ロザリオの聖母会の歴史に欠かせないのは、経済界の方々の支援である。

第二次世界大戦後、小原ケイたちが海上寮の経営に乗り出す過程において、当時日銀の副総裁や総裁をなさった新栄吉氏の存在が極めて大きいものがあつた。新木家と小原家は田園調布で隣家同士の関係にあり、小原ケイは小さいときから新木氏を「隣のおじさん」として親しみ、そのひざの上で遊んでいた。長ずるに及んで小原ケイが社会事業に手をそめることになり、その支援・指導を願ったところ、喜んで、きわめて自然に支援してくれた。

今とは社会・経済環境も異なり、新木氏の指導・支援は日本全体が新しい社会づくりに乗り出している激動の時代にあつて、海上寮の買収や経営にただならぬ影響を持つことになつた。時は新田封鎖などが行われた時代である。

昭和二十二年四月十六日、後の社会福祉法人ロザリオの聖母会の前身となる「宗教法人聖フランシスコ友

の会」が小原ケイを主管者としてスタートした。このとき新木氏は法人理事として名を連ねている。当時の日本社会で、日銀総裁である新木氏が役員に名を連ねることは、我々はその影響力を想像することさえ難しいのではないかと思われる。

その後、新木氏は駐米日本大使としてアメリカへ旅立つことになるが、後事を堀越禎三氏に依頼していった。堀越氏は後に日本経団連の副会長になる方であるが、長きにわたってロザリオの聖母会の監事に名を連ね、さまざま支援を惜しまなかつた。海上寮の象徴とされた三階建ての海星病棟が立てられた時代である。

堀越氏が経団連を去る際、ロザリオの聖母会の後事を花村仁八郎氏に託された。花村氏は日本航空の会長として、また日本経団連の副会長として、経団連と自由民主党が一番緊密な関係にあつた時代、花村方式といわれる経団連の献金方式を確立し、その世界に大きな力を持った方であつた。聖母療育園や聖マリア園・聖家族園が整備された時代である。

【新事業紹介】

香取就業センター

四月一日、多古町に「香取就業センター」がオープンしました。

障害者の就労支援と、就業した方の生活支援を行います。

これまで香取も、旭の東総就業センターがカバーしておりましたが、香取圏域を対象として公募がありましたので努力いたしました。より細かな対応が可能となります。三人の常勤支援員と事務職員で対応します。

企業支援員・未達成企業支援員・ジョブコーチは東総就業センターから支援します。

香取圏域の方々の主な就労先は成田周辺であり、このことはますます強くなる傾向にあります。そしてこのことは障害者に限らず、一般の方にとつても同じことです。

また障害のある方は、就業支援だけでなく、就業した後の支援も、大事で、これは雇い主にとつても大事です。

香取圏域の障害者と成田地区の企業を考へて多古町に事務所を構えることにしました。

【新事業紹介】

デイサービスセンター・ローザ

東北関東大震災の影響で資材の搬入が遅れ、整備中の新しい施設の利用は六月一日になりました。

しかし、この施設の試みはロザリオの聖母会にとつて革命的なことで、職員の間が考えたことが無理なく着実に実行されていくことを心から願っております。いわゆる「小規模・多機能・地域密着」を実行しようとしております。

この施設は介護保険による高齢者のデイサービスセンターですが、それにとどまらず、自費で負担していただけるなら、次のようなことにも対応しようとしています。

- 1、高齢者だけでなく、障害者も児童も利用できること。
- 2、朝や夜の時間外も利用できること。
- 3、お泊りも可能であること。

長くロザリオの聖母会が考へて出来なかつたことにチャレンジする職員を応援したいと思ひます。もちろん職員数に限りがありますから、その意味の限界はあります。

『旭市にも伊達直人はいます』

ふたば保育園

一月十三日、郵便受けに入っていた郵便物の中に白い封筒があり、何かと思いつつ中を見ると、驚きの気持ちがいっぱいになりました。添えられた手紙には、見出しの文字が、そして現金十万円が同封され、ロザリオのふたば保育園に、温かい優しさが届けられました。

ふたば保育園では、未就学保育と学童放課後支援を行い、現在三歳から十七歳の児童が通っています。言葉や体を思うように動かすことが出来ない児童に、以前から子供たちの思いを自分の力で伝えられたらどんなに素晴らしいだろうと話をしていました。なかなか実現できませんでした。

今回このようなお心を頂くことができましたので、リハビリスタッフと相談しながら児童の幸せが沢山見られる品物を購入させて頂くことにしました。心より感謝致します。

『通園センター新車バス納入』

通園センター 高安きみ江

聖母通園センターです。約11年間利用者さんに乗せ走ってきた銚子方面送迎バスが老朽化し、床に穴が空き下から雨水が吹き上げるなど傷みが激しい状態で、度々修理を行い使用していましたが、この度細川理事長・桑島センター長はじめ利用者ご家族の方々のご協力もあり、県及び銚子市・神栖市の補助金を頂き平成23年2月10日無事新車に交換する事が出来ました。

新車は走行中の音も静かで車椅子も今までの5台固定から6台固定に増えた為、ご家族の順番のお迎え当番もなくなりご家族、職員共々大変感謝しています。本当にありがとうございます。



平成22年度NHK歳末たすけあい募金の助成について

この度、NHK歳末たすけあい義援金の配分を受け、聖母療育園では、医療用ネブライザー1台、CDラジカセ2台、デジタルカメラ1台を、ワークセンターでは、テーブルセット2セット、32型テレビ1台、ストーブ1台を、佐原聖家族園ではイスを購入させて頂きました。医療行為や生活支援が豊かになる物品を購入することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

聖母療育園



佐原聖家族園



ワークセンター



行事予定

- 23. 4. 1 平成23年度辞令交付式
- 4 法人春の交通安全週間
- 6 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 7 決算事務研修会
- 8 クリーンデー
- 13 経営会議
- 18.19 職員等健康診断
- 20 法人運営会議、経営会議
- 21 通所事業所連絡会
- 26.27 職員等健康診断
- 27 地域生活支援会議
- 5. 7 ちば地域福祉塾
- 11 経営会議
- 13 クリーンデー
- 18 法人運営会議、経営会議、
デイサービスセンター・ローザ祝別式
- 25 理事会、評議員会、地域生活支援会議
- 6. 1 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 4 安全運転講習会、就職説明会
- 8 経営会議
- 10 クリーンデー
- 15 法人運営会議、経営会議
- 18 後援会役員会、ローザオ福祉まつり実行委員会
- 22 地域生活支援会議
- 7. 2 ちば地域福祉塾
- 6 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 7 地元説明会
- 13 経営会議、クリーンデー
- 20 法人運営会議、経営会議
- 27 理事会、地域生活支援会議

人間のための政策

第二次世界大戦により焦土となつたこともあり、私たちは全国民が経済復興を合言葉に走り続けてきた。ある程度のところで行うべき軌道修正も、わが民族には通用しなかった。いつしか経済成長が国家目標のようになり、経済成長率とGDPが最大の関心事となつた。私たちの社会は、経済が成長し、経済規模が大きくなるほど「貧困」が生まれ「自殺」が増え、「就職」が困難となった。私たちは途中から間違つたのである。

「経済」はそれ自体が目的では

ない。「科学」がそれ自体目的ではないのと同じである。経済も科学も、その独自の論理で動くために、しつかり手綱を握っていなければならぬものである。その手綱を握るのが政治であり、政治思想である。政治思想や哲学は証明の方法がないので、しっかりと落ち着いた議論を行い、合意形成を行う習慣が必要である。その場合の更なる判断の根拠は、曇りのない目での「人間に対する観察」である。

(ほ)

専用メールアドレスのお知らせ

ご意見、ご感想のある方は下記のアドレスまでお願いします。

koho@rosario.jp

ボランティア募集のお知らせ

ローザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。

お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

(担当 仲條)

看護職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください

TEL 0479(60)0600

(担当 採用係)

本誌のバックナンバーをローザリオウェブサイトを(<http://www.rosario.jp>)に掲載しています。

医療施設
海上療養所
自立訓練(生活訓練・就労継続支援B型事業所)

地域生活支援センター
友の会の

重症心身障害児施設
聖母療育園

重症心身障害児通園施設
聖母通園センター

障害児デイサービス
ふたば保育園

地域生活支援センター
ローザリオ発達支援センター

障害者支援施設
聖マリア

知的障害者更生施設
聖家族

障がい者の就労促進事業所
みんなの家園

障害者就業・生活支援センター
東総就業センター

生活介護事業所
聖家族作業所

共同生活介護・共同生活援助事業所
グループホーム支援センター

高齢者支援事業
ローザリオ高齢者支援センター

通所介護・介護予防通所事業所
ローザリオ訪問介護事業所

中核地域生活支援センター
海匠ネットワーク

旭市相談支援事業
旭障害者支援センター

知的障害者更生施設
佐原聖家族園

重症心身障害児通園施設
つどいの家園

共同生活介護・共同生活援助事業所
ケアホーム香取・グループホーム香取

香取市相談支援事業
香取障害者支援センター

障害者就業・生活支援センター
香取就業センター